

県 政 協 議 会

平成二十八年四月二十五日(月)

午前十時三十分

- 一、平成二十八年熊本地震への対応状況について
- 二、平成二十八年四月十七日からの暴風の状況について
- 三、秋田プライウッド(株)工場の火災への対応について
- 四、県内の経済雇用情勢について
- 五、その他

平成28年熊本地震への対応状況について

平成28年4月25日
総合防災課

この度の熊本地震の発生を受け、県では「災害連絡室」を設置し、被災地や国、関係機関等からの情報収集に努めるとともに、被災地支援に向けた即応体制の構築を図ってきたところである。

県警ヘリ「やまどり」の派遣に続き、救護班等を既に派遣しており、今後とも、被災地のニーズを踏まえつつ、早期の復旧・復興に向けた支援に積極的に取り組んでいく。

なお、この度の支援については、被災地における混乱を避けるため、災害協定等による支援のほかは、熊本県からの要請を受けた国、全国知事会等からの依頼に基づき対応することとされている。

1 災害連絡室の設置

- (1) 日 時 4月16日(土)午後4時
- (2) 人員体制 土日の日直体制を2人増員し4人体制とした。

2 本県による支援状況

(1) 人的支援

- ① 県警ヘリコプター (派遣期間 4月19日～21日)

県警ヘリ「やまどり」が被災地の情報収集活動を行った。

- ② 救護班 (派遣期間 4月24日～30日)

医師・看護師・薬剤師・事務職員からなる6人編成で、避難所・救護所等において医療活動を行っている。

- ③ 応急危険度判定士 (派遣期間 4月26日～28日)

県職員9人のほか、秋田市・大仙市・横手市の職員7人の計16人が、被災建築物の安全性の判定・表示等を行う。

(2) 物的支援

「アルファ化米粥」1,650食(4月22日熊本県へ発送済み)

3 県内市町村による支援状況

	市町村	支援物資
1	秋田市	6リットル給水袋2,000枚
2	由利本荘市	子供用紙おむつ1,000枚、ウェットティッシュ280個
3	東成瀬村	飲料水1,152リットル、米・パンの缶詰・レトルト食品合わせて約1,300食、その他缶詰約150個
4	湯沢市、男鹿市、 にかほ市、大潟村	飲料水1,440リットル、おかゆ150食、非常用トイレ56個、紙おむつ7,052枚、ブルーシート436枚 等
5	羽後町	飲料水2,400リットル、トイレトーパー2箱、生理用品4箱、おむつ43箱
6	大館市	土のう袋5,000枚

平成28年4月17日からの暴風の状況について

平成28年4月25日
秋田県災害連絡室

1 概要

4月17日、発達した低気圧が日本海北部を東北東に進み、北日本を通過。
秋田県では、海上を中心に17日昼過ぎから風が強まり、18日未明にかけて暴風状態となり、県内全域で人的被害(軽傷7人)、建物被害(公共施設や住家・非住家等一部破損371棟)、パイプハウスの損壊等の農林被害が発生したものの。

2 気象状況

(1) 県内の最大風速及び最大瞬間風速概要

	数 値	観 測 日 時	風 向	観 測 地
最大風速	18.5メートル	4月17日 22時04分	南 西	にかほ
最大瞬間風速	32.4メートル	4月17日 19時05分	北北西	湯瀬

(2) 警報発表状況

種 別	発 表 日 時	解 除 日 時	状 況	対 象 地 域
暴 風 警 報	4月17日 8時12分	4月18日 2時33分	解 除 済	能代市、三種町、八峰町、秋田市、男鹿市、潟上市、由利本荘市、にかほ市、 藤里町、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
	4月17日 20時27分	4月17日 23時40分		鹿角市、小坂町、大館市、北秋田市、上小阿仁村、大仙市、仙北市、美郷町、横手市、湯沢市、羽後町、東成瀬村
高 潮 警 報	4月17日 21時40分	4月18日 2時33分		男鹿市、潟上市

3 人的被害(4月24日16時現在)

	市 町 村 名	被害の内訳	負傷の程度
1	大 館 市	トタンが当たり負傷	いずれも 軽傷
2		風にあおられ転倒	
3	能 代 市	壊れた工作物が当たり負傷	
4	秋 田 市	飛来物が当たり負傷	
5	に か ほ 市	風にあおられ転倒	
6	湯 沢 市	飛来物が当たり負傷	
7	羽 後 町	脚立が当たり負傷	
			軽傷 7人

4 建物被害等(4月24日16時現在)

住家 一部破損117棟、非住家 一部破損206棟、
公共施設 一部破損48箇所

計 371 (棟・箇所)

(1)市町村別

市町村名	住家被害(棟)					非住家被害(棟)				公共施設(箇所)
	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	全壊	半壊	一部破損	浸水	
鹿角市			5					5		9
小坂町			4							1
大館市			12					26		4
北秋田市			6					10		2
上小阿仁村										1
能代市			4					8		7
三種町			5					3		
藤里町			1							
秋田市			3							2
男鹿市			2					2		1
湯上市										1
五城目町								2		2
八郎潟町								1		
由利本荘市			1					4		3
大仙市			28					73		5
仙北市			2					8		2
美郷町			9					5		1
横手市			4					23		
湯沢市			27					36		7
羽後町			3							
東成瀬村			1							
合計			117					206		48

(2) 主な被害状況

- ・ 樹海ドームの渡り廊下屋根剥離(大館市)
- ・ 阿仁体育館の屋根トタン剥離(北秋田市)
- ・ 美里小学校の物置小屋全壊(男鹿市)
- ・ その他、住家・非住家の被害は、屋根のトタンや外壁の剥離等

5 停電の状況

7市(鹿角市、北秋田市、能代市、男鹿市、大仙市、仙北市、湯沢市)の4, 936世帯で停電
(4月18日 3:37までに全て復旧)

6 農林水産関係(4月24日16時現在)

(1) 被害額 350, 801千円

- ・ 農作物等 5, 342千円(比内地鶏、メロン苗、りんご樹体等)
- ・ 栽培施設等 345, 459千円(パイプハウス倒壊、ビニール破損等)

(2) 栽培施設等被害状況

区分	被害程度	棟数	地区別棟数	
パイプハウス	全壊	273	鹿角：170棟	北秋田：249棟
	半壊	194	山本：91棟	秋田：331棟
	ビニール破損等	1,836	由利：133棟	仙北：775棟
	小計	2,303	平鹿：344棟	雄勝：283棟
その他(格納庫、畜舎等)		73		
計		2,376		

- ・ 全壊、半壊したパイプハウス467棟のうち水稻育苗ハウスは354棟、園芸用ハウスは113棟

7 道路規制の状況 (全て解除済)

道 路 名	所 在	状 況	原因	規 制 時 間
県揚の下岩脇道線	北秋田市	通行止め	倒木	4月17日 17:30 ~ 4月17日 21:50
主要地方道鷹巣川井堂川	北秋田市	通行止め	倒木	4月17日 18:14 ~ 4月17日 18:46
町明田地道線	美郷町	通行止め	倒木	4月17日 18:30 ~ 4月18日 1:00

8 警戒態勢(4月24日16時現在)

	体 制	設 置 日 時
県	秋田県災害連絡室(室長:総合防災課長) ※ 熊本県熊本地方を震源とする地震発生に伴い 設置中	4月16日 16:00
大 仙 市	大仙市災害警戒対策室(室長:総合防災課長)	4月17日 17:00
	大仙市災害警戒対策部(部長:総務部長)	4月17日 20:30改組
	大仙市災害警戒対策室(室長:総合防災課長)	4月18日 0:00改組 4月18日 17:00廃止
美 郷 町	美郷町災害対策警戒部(部長:総務課長)	4月17日 18:20設置 4月18日 17:00廃止
仙 北 市	仙北市災害連絡室(室長:総合防災課長)	4月17日 20:30設置 4月18日 13:00廃止

秋田プライウッド(株)工場の火災への対応について

平成28年4月25日

農 林 水 産 部

1 火災の状況

- 発生日時 平成28年4月6日 18時33分
- 発生場所 秋田プライウッド(株)向浜第2工場(秋田市向浜一丁目)
- 被災状況 第2工場全焼により、製造設備使用不能。製品在庫焼失。第1工場の一部に延焼。

2 現 状

- 全焼した第2工場は、解体、新築する方針であり、復旧までに相応の時間を要するが、第1工場は、4月11日から再稼働している。
- 被災による製品出荷量の減少分について、第1工場や男鹿工場の増産等により対応する計画である。
- 丸太の受入れについて、秋田プライウッド(株)では、県外と国有林からの入荷を調整し、県内民有林からの仕入れを優先的に行うとしており、県内の丸太生産への影響は最小限にとどまる見込みである。
- 第2工場の従業員は、第1工場や男鹿工場などに配置されている。

3 今後の対応方針

- 秋田プライウッド(株)の復旧計画を最大限バックアップしていく。
- 丸太の安定的な需給に向け、秋田プライウッド(株)と森林組合や林業事業体等との協議の場を設けており、随時、情報を共有しながら対応していく。

(参考) 秋田プライウッド(株)の概要

県内原木生産量の4割を原材料として受け入れ、住宅向け構造用合板やフローリング材料を製造・出荷。

- ・ 設 立 昭和38年2月9日
- ・ 資 本 金 185,208千円
- ・ 従 業 員 367人(平成27年4月現在)
- ・ 国産原木消費量 534千m³(平成27年4月現在)
- ・ 県産原木消費量 432千m³(平成26年12月末現在)
- ・ 合板生産量 437千m³(平成27年4月現在)

※全国シェア17%

県内の経済雇用情勢について

平成 28 年 4 月 25 日
産 業 労 働 部

1 概 況

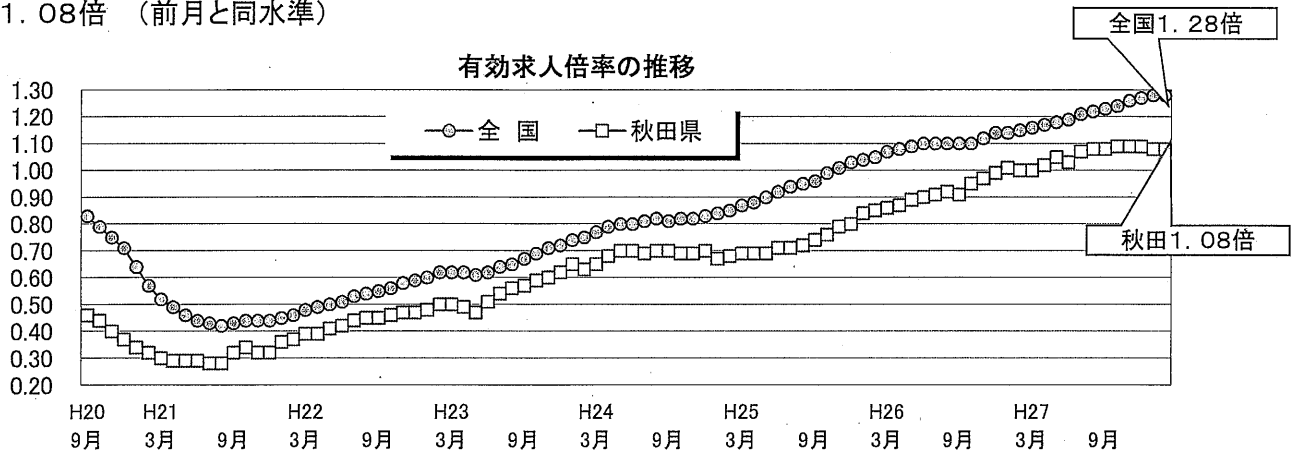
- ・ 県内経済は、個人消費は基調としては堅調に推移し、製造業は全体として横ばいの動きとなっている。
- ・ 2月の有効求人倍率は1.08倍(前月と同水準)であり、高水準で推移している。

2 県内経済動向調査結果(平成28年2月分)

- ・ 製 造 業 スマートフォン関連製品等の生産鈍化や新興国経済の影響等が引き続きみられるものの、全体としては横ばいの動きとなっている。
- ・ 建 設 業 公共投資は4か月ぶりに前年同月を下回っている。
- ・ 小 売 業 総じて堅調に推移している。
- ・ サービス業 上向きの動きがみられる。

3 有効求人倍率(平成28年2月)

1.08倍 (前月と同水準)



4 離職者の状況(平成28年3月)

5社 30人(前年同期比 + 2社、▲ 4人 前月比 + 1社、▲ 17人)

※ 1社10人以上で、労働局、企業訪問等からの情報により把握した当該月の離職者数

5 平成28年3月新規高卒者職業紹介状況(平成28年3月末現在、秋田労働局発表)

- ・ 県内就職希望者数 1,555人(前年同期比 ▲ 51人、▲ 3.2%)
(県外就職希望者数 775人(前年同期比 ▲ 15人、▲ 1.9%))
- ・ 県内就職希望率 66.7%(前年同期比 ▲ 0.3ポイント)
- ・ 県内求人数 3,684人(前年同期比 +336人、+10.0%)
- ・ 県内就職内定者数 1,549人(前年同期比 ▲ 38人、▲ 2.4%)
(県外就職内定者数 775人(前年同期比 ▲ 13人、▲ 1.6%))
- ・ 県内就職内定率 99.6%(前年同期比 + 0.8ポイント)

【参考】平成28年3月新規県内大学等卒業者の就職内定状況(平成28年3月末現在、秋田労働局発表)

- ・ 県内就職希望者数 1,100人(前年同期比 ▲ 38人、▲ 3.3%)
- ・ 県内就職希望率 47.1%(前年同期比 ▲ 0.6ポイント)
- ・ 県内就職内定者数 1,093人(前年同期比 ▲ 20人、▲ 1.8%)
- ・ 県内就職内定率 99.4%(前年同期比 + 1.6ポイント)

地域ごとの状況

地 域	有効求人 倍率 (H28.2月)※1 (倍)	離職者数 (1社10人以上) (H28.3月) (人)	倒産件数 (H28.3月) (件)	平成28年3月新規高卒者 職業紹介状況(H28.3月末現在)※2			
				県内就職 希望者数 (人)	県内 求人数 (人)	県内就職 内定者数 (人)	県内就職 内定率 (%)
鹿 角	1.33			59 (58)	171 (149)	59 (58)	100.0 (100.0)
北秋田	1.25	1		184 (208)	506 (400)	184 (208)	100.0 (100.0)
山 本	1.14		1	124 (113)	302 (280)	124 (113)	100.0 (100.0)
秋 田	1.14	22		534 (585)	1,344 (1,206)	530 (576)	99.3 (98.5)
由 利	0.91		1	157 (171)	351 (304)	156 (167)	99.4 (97.7)
仙 北	0.97			276 (230)	456 (464)	276 (229)	100.0 (99.6)
平 鹿	1.21		1	117 (118)	293 (255)	116 (113)	99.1 (95.8)
雄 勝	0.87	7	1	104 (123)	261 (290)	104 (123)	100.0 (100.0)
計	1.08	30	4	1,555 (1,606)	3,684 (3,348)	1,549 (1,587)	99.6 (98.8)

※1 有効求人倍率の計は季節調整値。地域別の値は原数値(全数)

※2 平成28年3月新規高卒者職業紹介状況の()内は前年度の数値

住宅リフォーム推進事業について

平成28年 4月25日
 建築住宅課

1 平成27年度実績

(単位：件数)

地域	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	合計
実績	371	1,226	864	4,006	845	851	585	401	9,149

2 前年度との対比

平成26年度実績 9,668件 (94.6%)

<参考>

住宅リフォーム推進事業の概要

○平成27年度 補助額 工事に要する費用の10% (上限額15万円)
 予算額 1,035百万円 (9,000戸)

○平成28年度

・従来型 補助額 工事に要する費用の10% (上限額15万円)
 予算額 847百万円 (7,500戸)

・多子世帯 (18歳以下の子3人以上)

補助額 工事に要する費用の20% (上限額40万円)
 予算額 72百万円 (180戸)

・子育て世帯 (空き家購入後・18歳以下の子1人以上)

補助額 工事に要する費用の30% (上限額60万円)
 予算額 30百万円 (50戸)